



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日  
上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社  
コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 大塚 信行  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 奥津 明洋 TEL 045-474-9000  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	30,325	7.8	1,839	28.6	2,182	31.2	994	0.4
2023年3月期第3四半期	28,122	0.6	1,430	△38.1	1,663	△37.1	990	△49.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,741百万円 (△25.0%) 2023年3月期第3四半期 2,323百万円 (△7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	74.59	73.72
2023年3月期第3四半期	75.48	73.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	47,128	25,146	52.1
2023年3月期	43,629	24,589	54.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 24,538百万円 2023年3月期 23,605百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	8.7	2,500	7.8	2,800	12.9	1,450	△13.0	107.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年2月9日）公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	13,700,000株	2023年3月期	13,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	241,564株	2023年3月期	558,918株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	13,335,801株	2023年3月期3Q	13,123,165株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」に係る信託E口が保有する当社株式（2024年3月期3Q 42,000株、2023年3月期 42,000株）が含まれております。また、信託E口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期3Q 42,000株、2023年3月期3Q 20,618株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報) .....	9
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が進むなか、個人消費や設備投資を中心に緩やかな回復基調で推移したものの、物価の上昇やサービス業を中心とした労働需給のひっ迫などの影響が懸念されるほか、ウクライナや中東情勢、米中摩擦などの地政学的リスク、中国経済の減速や欧米での金融引き締めによる景気後退懸念など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体設計関連事業が前年同期実績に及ばなかったものの、システム・サービス事業が堅調に推移したことやテストソリューション事業の一部で持ち直しが見られたことなどから、売上高30,325百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益1,839百万円（同28.6%増）、経常利益2,182百万円（同31.2%増）となりました。また、特別損失として投資有価証券評価損561百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益994百万円（同0.4%増）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### 〔テストソリューション事業〕

テストソリューション事業は、半導体メモリー市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品の提供に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発やメモリー以外の周辺ソリューションの拡大に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、半導体市況低迷に伴う顧客の投資抑制によるメモリー向けテスターの需要が落ち込み大幅な減収となったものの、新製品の販売が堅調だったことにより一定の収益は確保いたしました。台湾のSTAr Technologies, Inc.は、市況低迷によりプローブカードの販売が伸び悩んだものの、信頼性試験装置の販売が堅調に推移し増収となりました。

その結果、当事業の売上高は11,337百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は634百万円（同35.9%増）となりました。

#### 〔半導体設計関連事業〕

半導体設計関連事業は、新規顧客の開拓や既存顧客との関係強化を図るなど積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。EDA他については、主力商品である半導体設計用（EDA）ソフトウェアの新規顧客向け販売や既存顧客からの受注が概ね堅調に推移したものの、一部商品の取り扱い終了に伴い減収となりました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、主力顧客の需要が減少し主にアナログ設計関連の業況が悪化したものの、一定の受注は確保したことから、ほぼ前年同期並みの実績となりました。株式会社モーデックのシミュレーションモデル製品販売や設計支援サービスは、半導体や自動車関連向けの受注が伸び悩み減収となりました。

その結果、当事業の売上高は9,512百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益は423百万円（同17.1%減）となりました。

#### 〔システム・サービス事業〕

システム・サービス事業は、当社グループのエンジニアリング力を活かし、特徴ある製品の開発やサービスの提供に注力するとともに、展示会やWEBを活用し新規顧客の獲得を図るなど積極的な営業活動を行ってまいりました。自社製CPUボードやBOX型コンピューターなどの組込み製品は、社会インフラや産業機械向けなどを中心とした需要が引き続き高いことに加え、防衛やセキュリティ関連向けも伸長し増収となりました。アイティアアクセス株式会社は、決済端末の需要が増加したことに伴いクラウド決済サービスも堅調に推移し増収増益となりました。ガイオ・テクノロジー株式会社の車載向け組込みソフト検証ツール販売及びエンジニアリングサービスは、自動車関連の需要が回復傾向となったことなどにより増収増益となりました。株式会社レグラスは、AIカメラシステムの量産販売が低迷したものの、受託開発が概ね順調に推移したことなどにより増収となりました。

その結果、当事業の売上高は9,476百万円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益は1,177百万円（同26.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は47,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,498百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金や商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は21,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,942百万円増加いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が減少したものの、短期借入金や前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産は25,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ556百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は52.1%となり、前連結会計年度末に比べ2.0ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年11月9日に公表いたしました2024年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2024年2月9日付で別途公表しております「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,598,397	8,110,937
受取手形、売掛金及び契約資産	9,665,796	9,890,124
商品及び製品	4,839,267	5,706,273
仕掛品	1,349,057	1,707,852
原材料	1,917,086	2,358,086
その他	1,593,453	2,218,760
貸倒引当金	△5,525	△5,433
流動資産合計	25,957,534	29,986,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,736,726	8,813,939
減価償却累計額	△5,296,141	△5,499,010
建物及び構築物 (純額)	3,440,585	3,314,929
土地	5,848,453	5,848,453
その他	4,714,190	4,747,191
減価償却累計額	△2,540,060	△2,402,416
その他 (純額)	2,174,129	2,344,774
有形固定資産合計	11,463,168	11,508,157
無形固定資産		
のれん	1,005,860	877,836
その他	1,231,053	1,268,114
無形固定資産合計	2,236,914	2,145,951
投資その他の資産		
投資有価証券	1,734,408	1,378,815
その他	2,237,239	2,108,648
投資その他の資産合計	3,971,647	3,487,463
固定資産合計	17,671,730	17,141,573
資産合計	43,629,265	47,128,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,053,286	2,659,259
短期借入金	5,240,966	8,316,950
1年内償還予定の社債	2,200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	630,016	698,284
未払法人税等	439,423	229,617
前受金	3,118,406	5,452,108
賞与引当金	317,395	616,210
役員賞与引当金	6,200	10,362
その他	2,062,759	1,657,164
流動負債合計	17,068,453	19,639,957
固定負債		
長期借入金	1,073,280	1,445,000
役員退職慰労引当金	174,453	163,815
株式給付引当金	18,598	31,449
退職給付に係る負債	301,560	337,696
その他	402,931	363,598
固定負債合計	1,970,824	2,341,559
負債合計	19,039,278	21,981,516
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,242,744	4,044,529
利益剰余金	8,697,421	8,759,226
自己株式	△651,358	△275,625
株主資本合計	22,805,967	23,045,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,295	153,553
繰延ヘッジ損益	△44,960	△15,741
為替換算調整勘定	756,761	1,363,357
退職給付に係る調整累計額	△12,686	△7,979
その他の包括利益累計額合計	799,409	1,493,189
新株予約権	128,849	21,730
非支配株主持分	855,760	586,446
純資産合計	24,589,987	25,146,657
負債純資産合計	43,629,265	47,128,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	28,122,460	30,325,438
売上原価	19,229,123	20,555,327
売上総利益	8,893,336	9,770,110
販売費及び一般管理費	7,462,846	7,930,251
営業利益	1,430,490	1,839,859
営業外収益		
不動産賃貸料	335,866	357,317
為替差益	186,921	201,650
その他	107,759	151,529
営業外収益合計	630,547	710,497
営業外費用		
不動産賃貸費用	244,203	284,181
その他	153,341	83,522
営業外費用合計	397,544	367,704
経常利益	1,663,492	2,182,652
特別利益		
補助金収入	—	2,039
固定資産売却益	579	1,610
特別利益合計	579	3,649
特別損失		
投資有価証券評価損	—	561,160
その他	—	2,039
特別損失合計	—	563,199
税金等調整前四半期純利益	1,664,072	1,623,102
法人税等	655,918	589,548
四半期純利益	1,008,154	1,033,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,599	38,818
親会社株主に帰属する四半期純利益	990,555	994,735



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,008,154	1,033,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,197	53,258
繰延ヘッジ損益	114,676	29,219
為替換算調整勘定	1,151,522	621,109
退職給付に係る調整額	2,395	4,706
その他の包括利益合計	1,315,791	708,293
四半期包括利益	2,323,945	1,741,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,283,799	1,688,516
非支配株主に係る四半期包括利益	40,145	53,331

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第2四半期連結会計期間において、当社役員の退任に伴うストック・オプション行使による自己株式を286,000株、当社役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式を15,000株処分いたしました。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式を26,000株、当社従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式を2,400株処分いたしました。このほか、単元未満株式46株の買取りを含め、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が198,098千円、自己株式が375,733千円それぞれ減少しております。

これらに加え、第2四半期連結会計期間において、連結子会社であるSTAr Technologies, Inc.の株式を追加取得したため、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が116千円減少しております。

この結果、第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,044,529千円、自己株式が275,625千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結会計期間より、STAr-Pearl Technologies Inc.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、STAR-PROBE MICROTECH PTE. LTD.は清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	4,266,857	—	—	4,266,857	—	4,266,857
STAr Technologies	5,621,996	—	—	5,621,996	—	5,621,996
EDA他	—	6,882,872	—	6,882,872	—	6,882,872
三栄ハイテックス	—	2,955,639	—	2,955,639	—	2,955,639
モーデック	—	218,323	—	218,323	—	218,323
組込みシステム他	—	—	1,637,532	1,637,532	—	1,637,532
アイティアアクセス	—	—	3,625,341	3,625,341	—	3,625,341
ガイオ・テクノロジー	—	—	2,569,068	2,569,068	—	2,569,068
レグラス	—	—	344,828	344,828	—	344,828
顧客との契約から生 じる収益	9,888,853	10,056,835	8,176,770	28,122,460	—	28,122,460
外部顧客への売上高	9,888,853	10,056,835	8,176,770	28,122,460	—	28,122,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	43	10,264	10,362	△10,362	—
計	9,888,908	10,056,878	8,187,035	28,132,822	△10,362	28,122,460
セグメント利益	466,809	510,990	931,690	1,909,490	△478,999	1,430,490

(注) 1. セグメント利益の調整額△478,999千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△479,814千円及び棚卸資産の調整額814千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	2,421,213	—	—	2,421,213	—	2,421,213
STAr Technologies	8,915,916	—	—	8,915,916	—	8,915,916
EDA他	—	6,358,425	—	6,358,425	—	6,358,425
三栄ハイテックス	—	3,005,559	—	3,005,559	—	3,005,559
モーデック	—	148,315	—	148,315	—	148,315
組込みシステム他	—	—	2,168,346	2,168,346	—	2,168,346
アイティアアクセス	—	—	3,924,716	3,924,716	—	3,924,716
ガイオ・テクノロジー	—	—	3,024,198	3,024,198	—	3,024,198
レグラス	—	—	358,746	358,746	—	358,746
顧客との契約から生じる収益	11,337,129	9,512,300	9,476,008	30,325,438	—	30,325,438
外部顧客への売上高	11,337,129	9,512,300	9,476,008	30,325,438	—	30,325,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,636	32,104	33,740	△33,740	—
計	11,337,129	9,513,936	9,508,113	30,359,179	△33,740	30,325,438
セグメント利益	634,262	423,783	1,177,227	2,235,272	△395,413	1,839,859

(注) 1. セグメント利益の調整額△395,413千円には、セグメント間取引消去37千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△396,372千円及び棚卸資産の調整額921千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報)に記載のとおりであります。